

授業情報						
開講年度	2019年度		開講箇所	グローバルエデュケーションセンター		
科目名	数学基礎プラスα（金利編） 02					
担当教員	高木 悟／曾布川 拓也／遠藤 直樹／野口 和範					
学期曜日時限	秋クォーター 01:無フルOD					
科目区分	数学科目		配当年次	1年以上	単位数	1
使用教室			キャンパス			
科目キー	9S02000001		科目クラスコード	02		
授業で使用する言語	日本語					
	コース・コード	MATX1010				
	大分野名称	数学				
	中分野名称	数学				
	小分野名称	数学				
	レベル	初級レベル（入門・導入）		授業形態	オンデマンド	
	オープン科目 フルオンデマンド授業					

シラバス情報							
副題	金利でだまされないために						
授業概要	※01・02・03とも同一内容です。1つしか履修できません。 ★重要★ 本授業は、ガイダンス・講義・小テスト・アンケート・最終試験をすべて Course N@vi で実施する「フルオンデマンド授業」である。履修登録の前に、必ず以下のURLで受講環境を確認し、すべて承知のうえで履修登録すること。 早稲田大学ITサービスナビ → 各種システムの推奨環境 http://www.waseda.jp/navi/services/system/sys_requirements.html ※大学が推奨している環境以外での受講による不具合については対応しません。 ※自宅のPCでオンデマンド授業が受講できない場合には、学内のPC教室で受講すること。 本科目は、早稲田大学の全学基盤教育「数学基礎プラス」シリーズの1つである。このα(金利編)では高校数学の知識を前提とせずに授業を進めるので、数学が苦手であっても安心して学習できる。 銀行などにお金を預けるとき、また金融業者からお金を借りるときに、単利や複利などの基本的な金利計算を知らないことにより、じつは損をしていることもある。本科目では、金利計算のうち比較的考察しやすい「単利」と「複利」に焦点を絞り、その計算のしくみとそれに必要な数学の基礎を講義する。最終的に単利と複利の問題がたやすく解決できるような数学的能力の習得と、それらのしくみの理解を到達目標としている。また、論理的思考能力についても、本科目を受講することにより自然と身に付けられるよう専用の教科書を用いて講義する。 いまだ数学を避けてきた文系学生を主な対象とし、高校数学の知識を前提とせずに基礎からわかりやすく講義する。また、本科目を含む「数学基礎プラス」シリーズでは、教務補助のLA(教育コーチ)による対面指導のほか、Course N@vi のBBS(電子掲示板)や質問用ML(メーリングリスト)の質問制度を用意しているので、授業内容で理解できなかった点や質問したい点を気軽に聞くことができる。おおいに利用し、理解を深めてほしい。						
授業の到達目標	数学の基礎知識(指数・対数・数列)、金利の基礎知識(金利用語・単利計算・複利計算)、論理的思考能力が身に付く。						
授業計画	1: #1. 単利と等差数列1 単利計算, 数列, 数列の和 2: #2. 単利と等差数列2 等差数列, 等差数列の和, 等差数列と単利計算 3: #3. 複利と等比数列 複利計算, 等比数列, 等比数列の和, 等比数列と複利計算 4: #4. 複利計算と指数計算 半年複利と1年複利, 指数法則, 累乗根, 指数の拡張, 累乗の大小 5: #5. いろいろな複利計算 いろいろな複利計算, 経過時間を実数とした単利・複利における元利合計 6: #6. 複利計算と対数 複利計算, 対数, 対数法則, 対数の大小 7: #7. ローンの金利 ローンの残高, ローンの返済年数 8: #8. 総復習と最終試験 総復習, 最終試験						
教科書	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスα(金利編)2019」早稲田大学出版部 2019年 早稲田大学内の生協で取り扱っています。一般の書店で取り寄せてもらうことも可能です。						
参考文献	西原健二・瀧澤武信・玉置健一郎 著「経済系のための微分積分[増補版]」共立出版 2018年 高木悟・長谷川研二・熊ノ郷直人 共著「理工系のための基礎数学」培風館 2015年 吉村善一・足立俊明 共著「初歩からの入門数学」数理工学社 2007年 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスβ(金利編)」早稲田大学出版部 (2015年以降の発行であればどれでもよい)						
成績評価方法	<table><tr><th>割合</th><th>評価基準</th></tr><tr><td>試験: 30%</td><td>#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。</td></tr><tr><td>平常点評価: 70%</td><td>#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。</td></tr></table>	割合	評価基準	試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。	平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。
割合	評価基準						
試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。						
平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。						
備考・関連URL	Course N@vi によるフルオンデマンド授業であるが、対面による質問相談受付などフォロー体制を整えているので、数学が苦手な学生も安心して受講できる。 本科目を受講することにより、数学に対する考え方、ものの見方が変わるであろう。 本学の定める本クォーター開始日の00:00から#1(第1回)がスタートする。 春クォーターと秋クォーターのクラスは科目登録の2次登録者にも配慮し、#1の小テスト等の締め切りを延長する。 詳しい授業スケジュールについては、履修登録後に Course N@vi 本科目内のガイダンス動画を必ず視聴して確認すること。						

